

異文化交流サークル ACE 2020 年度 活動報告書

文責：神津真一、入澤寛輝、時田聡実

1. 団体紹介

(1) 活動概要

ACE (Action group for Cross-cultural Exchange) は、「交流・架け橋・ボランティア」を三大理念に掲げ、新入留学生をサポートすることを主な活動とするサークルである。1988 年 6 月に結成され、30 年以上の歴史を持つ。現在は、留学生の日本での新生活をサポートするための受け入れ活動を主軸とし、さらに留学生と日本人学生の交流イベントを定期的に企画・運営している。普段の活動としては、毎週月曜日の夜にインターナショナルレジデンス東山の会議室を借りて、ミーティングを行っている。今年度はコロナのため Zoom でミーティングを行った。ミーティングではイベントについての連絡や話し合いを行い、進化していく団体を目指して、日々活動を続けている。

(2) 組織編成

学部 1 年生から大学院生まで、メンバーは総勢 100 名以上にのぼる。メンバーの大半は名古屋大学生で構成されているが、南山大学、金城学院大学、椋山女学園大学、名城大学等の近隣の大学からもメンバーが集まっており、全体の人数も年々増加傾向にある。団体の中心学年は学部 2 年生であり、毎年 6 月に行う「まじめ合宿」で交替わりを行っている。2020 年 6 月からは「32 期」(現 2 年生)が中心となり運営をしている。32 期の役職の種類、人数、内容は以下の通りである。

役職	人数	内容
代表	1	ACE 全体の活動のとりまとめ、毎週のミーティングの進行。 (代表副代表制の復活)
副代表	2	ACE 全体の活動のとりまとめ、代表の補助。
会計	2	ACE 資金の管理、収支のデータをまとめる。
SNS	3	Facebook、Instagram、Twitter の管理、広報を行う。
メール	2	ACE メール (主に渉外用)、メーリングリスト (ACE 内での情報共有用) の管理。
ホームページ	2	ACE のホームページの更新・管理。

MT係	6	毎週のミーティングの議事録をとり、メーリングリストでの共有。ミーティングの司会進行。スライド作成。
OneDrive	1	歴代の運営の情報が保存・共有しているシステムの管理。
暦	1	ACEメンバーへのイベント情報の発信。
幹事	3	ACEメンバー同士での交流の場を作る。

(3) 受け入れ活動

ACEの活動の中で最も重要とされているのが、この受け入れ活動である。受け入れ活動とは、4月と10月に新たに名古屋大学に入学する留学生の新生活をサポートする様々な活動の総称である。現在行っている具体的な活動には、レジデンス受け入れ（東山・山手・妙見・大幸）、キャンパスツアー、バザー（NUFSAと共催）、ウェルカムパーティー（NUFSA支援）、遠足、パンフレット作成などがある。特にパンフレット作成はACEが独自に行なっている活動の1つであり、留学生が日本で生活する上で必要となる情報を載せることができるよう年々改訂を重ねている。これらの活動を通し、留学生の支援だけでなく、留学生同士または留学生と日本人学生が交流する場を提供できることから、ACEメンバーの活動実施意欲も高い。

2. 2020年度 ACE 活動報告

(1) 年間イベント一覧

- 4月 受け入れ活動 新歓活動
- 5月 新歓活動 5月企画 ACELINK(5~8月)
- 6月 まじめ合宿 海外報告会(6~8月)
- 7月 online dinner together
- 8月
- 9月
- 10月 ハロウィンパーティー 秋新歓 online dinner together
ACELINK(10~1月)
- 11月 32期企画 online dinner together
- 12月 紅葉企画
- 1月 ウィンターパーティー online dinner together
- 2月 バレンタイン企画 オンラインキャンパスツアー（動画作成）
- 3月 新歓活動 受け入れ活動 追いコン

(2) イベント概要

ACEが最も大切にしている活動は留学生の受け入れ活動であるが、今年はコロナの影響でこれらの活動はできなかった。そのためオンラインで留学生に日本の文化を紹介したりACEの活動の向上のために設けられたりする企画など、1年を通して絶え間なく活動を行っている。本年度の各イベントから一部抜粋して、概要をここにまとめることにする。

○Virtual Quiz Journey Hop Step Japan

コロナ化で初めて行ったオンラインイベントである。オンライン上で各地に旅行に行き、クイズを留学生と楽しむというイベントである。多くの留学生とクイズを楽しむことができた

○オンライン Dinner together

今までは対面で行っていたイベントをオンラインでやった企画である。これは1年で3回行った企画である。オンライン上でご飯を食べながら、おしゃべりをした。この企画では海外にいる留学生とも一緒に食事をして楽しむことができた。多くの留学生が参加して、遠くに離れた留学生と会話することができとても楽しい企画だった

○ハロウィンパーティー

昨年度に引き続き行われた企画である。これは緊急事態宣言が解除され、コロナが収束してきたために、今年初めて行うことができた対面イベントである。一年生も多く参加してくれ大きなイベントになった。チーム対抗のゲームを行ったり、仮装して写真を撮ったりして非常に盛り上がった。

○紅葉企画

これは昨年度に行われたイベントをオンラインでやった企画である。事前に紅葉の動画を撮り、紅葉の映像も楽しみながらクイズも行った。留学生も多く参加してくれて、オンラインイベントとしては多くの留学生が参加してくれたイベントだった。

○ウィンターパーティー

一年生が主体となって行った企画である。今までは絵でレクをしたり、一緒におでんを食べるなどしていたが、コロナの影響でそれが厳しかったため、今回は留学生にお正月のことをもっとしてもらおうためのクイズを行った。しっかり英語字幕付きで日本の文化を紹介することができた。

(3) 今年度の活動目標

今年度の活動目標 本年度の活動目標は「留学生にボランティア精神」、「ACE に愛をもって運営」である。前者は、留学生を第一に考えて ACE の活動を行うという目標を示したものである。本年度は留学生が新型コロナウイルスの世界的蔓延の影響で来ないが、これまでにACEとつながりがあった留学生を主な対象として Online dinner together を多く開催する。後者は、自分たちが ACE の活動をより良いものにするという意識を持ち、主体的に運営に取り組むという目標を示したものである。今年度の活動主体である 32 期 (2 年生) は、意見を強く主張する人は少ないが、他者の意見を柔軟に取り入れられる人が多い。そのため皆で意見を出し合い、それぞれの意見の良いところを組み合わせる ACE の活動に取り入れてきた。そのため本年度の活動には、メンバー一人一人が ACE をより良くしようと考えた結果が表れているといえる。また、32 期は留学生との交流する機会が少なかったが、例年にも増して留学生のことをよく考えている学年である。前者と重なる部分ではあるが、留学生に重きを置いた運営をすることができたと考える。

(4) 今年度の新たな取り組み

今年度の新たな取り組みとして、ほとんどすべての活動をオンラインで行ったことがあげられる。毎週月曜日に東山レジデンスで行っていたミーティングは、Zoomで行い、ハロウィンパーティー以外の例年行っていたイベントはオンラインで行った。また、受け入れ活動が行えなかったため、オンラインでのキャンパスツアーの動画を作成した。

・ オンラインでのイベント開催

ACEは例年ほとんど毎月、季節に合ったイベントを開催している。今年は、コロナウイルスの影響で、対面での活動が制限されていたため、オンラインで広報イベントを開催した。利点は、日本にいない留学生もイベントに参加できたことがあげられる。欠点は、広報が難しい点や、オンラインだと参加率が下がってしまうという点があげられる。

3. 来年度に向けて

来年度に向けて ACE では今年度、online dinner togetherに挙げられるようにいろいろな留学生にACEの存在を知ってもらい、イベントに来てもらえるような工夫をしてきた。ただここ数年、ACE と同じ国際交流を主とするサークルがいくつかできてきている中で、いかに ACE が留学生と関わり、サークル運営をしていくかが試されている。OBOGが残したものを引き継ぐのか、あるいは他団体と連携して全く新しい仕組みを作り出していくのか。いずれにせよ、これからも ACE が留学生にとっても、メンバーにとっても居心地の良い場所であり続けてほしいと願う。